

2018. 5. 29

いのち推進

プロジェクト

NO. 2



いのちの日便り

～第2回一中いのちの日 「一中いのちの日」シンボルマークペイント～

5月10日の「一中いのちの日」には、一人ひとりがシンボルマークに色を塗りながら「いのち」について考える活動を行いました。

マークを見て想像したことや考えたことをもとに、自分で色を選んで丁寧にペイントしました。また、マークの考案者がどんな思いをこめてデザインしたのか、担任の先生から話を聞きました。



【マークに込められた意味について】

【デザインについて】

LIFE：生命・生き方・心

時計：いのちを刻む・いのちの縦糸

ハート：生命・心・感性

鍵：心の鍵を開ける・つながる

羽：いのちの輝き・未来への羽ばたき

【配色について】

ピンク：心・温かさ

黄色：生命・輝き

赤色：生命・心

青からのグラデーション：夜明け→心の解放

考案者 デザイン：松浦雪乃さん（H23卒業生）

アレンジ：遠藤由美子先生（旧職員）

☆生徒のみなさんの感想より～どんな思いをこめてマークをペイントしたか～

・いのちの日のシンボルマークから、考えた人の気持ちが伝わってきました。これからも思いやりの心を持って過ごしていきたいです。 (1年3組 清野 響さん)

・初めていのちのマークを見ました。色にも形にも思いがたくさんつまっていて、びっくりしました。こめられた思いをたくさんの人に伝えたいです。 (1年3組 三浦 礼子さん)

・今日のいのちの日でマークペイントをしました。僕がこめた思いは、心の温かさ、生命、思いやりです。後ろの人のを見ると、オレンジや黄色を使い、いろんな意味をこめているなと思いました。いのちの日のシンボルを見てみると、それを作った人の大切な思い(思いやり、少しずつの感謝)がこめられていました。いのちを大切にしていきたいです。 (1年4組 保科 旦さん)

・私は、しっかり自分の思ういのちのマークに色を染められたと思います。私は、オレンジ色の「友達」を特に意識して染めたのでこれからも友達を大切にしていきたいです。 (1年4組 池田 光甫さん)

・赤は人の命のように、水色は飛び立つように。黄色は、赤や水色などの色を目立たせるような意味を持ついのちのマークを塗りました。いのちのマークペイントをしてみて、いのちの色ってこんな色なんだと感じることができました。 (2年3組 東海林 賢正さん)

・黄色のグラデーションの部分は、明るい未来へ羽ばたいていけるようにイメージしました。ハートのカラフルな部分は、みんなのいろいろな思いが一つになって団結して生活したいという思いで、カラフルに染めました
(2年3組 齋藤 萌さん)

・僕は、空っぽな自分に心を入れるような感じで色をつけました。でも、制作者は、暗い色を使っていませんでした。自分は、暗い色を使っており、なんかネガティブだなと思いました。(2年4組 上野 裕太さん)

・いのちのマークを染めて、自分なりの文字では表すことが難しい思いも、色で表現できました。また、話を聞いて、私が考えている思いだけでないことがあって、改めてすばらしいマークだなと思いました。
(2年4組 布施 桃香さん)

・いのちのマークについて再確認ができて良かった。自分なりにマークに色づけできて、いのちの大切さを大事にしていこうと思いました。
(3年3組 宍藤 集人さん)

・私は思いやりの心が大切だと思ったので、暖かい色で塗りました。自分の思いを色で表すことができたのでよかったです。
(3年3組 高橋 紅音さん)

・今日のマークペイントを通して、私はいのちの成り立ちについて考えることができました。たくさん種類の色を使って、生きている上で感じられる感情や、赤と青を使っているいのちが動いている様子を表現することができました。
(3年4組 小関 羽咲さん)

・一年間、優しく思いやりのある生活になるように明るい色を使いました。人の気持ちをもっと考えられる人に成長したいです。
(3年4組 熊坂 藍音さん)



皆さんの感想から、今回の活動を通して「いのち」について深く考えたことが、よく伝わってきました。これからも、自分のいのち、周囲の人々のいのちを大切に、生活して欲しいと心から願っています。

次回のいのちの日は、6月7日です。担任の先生から読み語りをさせていただきます。